

令和5年度男女平等推進行動計画進行管理結果の概要

1. 取組の実施状況

実施状況については、8割の取り組みについて当初の予定通りの実績を達成できた。

総取組件数		133件	
	実施状況が「A」だった取組	7件	…計画・数値目標共に達成できた取組
	実施状況が「B」だった取組	89件	
		21件	…数値目標は達成できなかった取組
	実施状況が「C」だった取組	11件	
	実施状況が「D」だった取組	1件	
	実施状況が「Z」だった取組	4件	

① 予定以上の実績を上げた取組「A」

・取組番号66番

高齢者就労指導センターの活用（66 ページ）

【評価の理由】

計画どおり高齢者就労に関する講習会を開催し、目標値を上回ったため。

・取組番号80番

家庭経営協定の締結に向けた研修の強化（80 ページ）

【評価の理由】

計画どおり取り組んでおり、目標値を上回ったため。

・取組番号82番

審議会等市政への参加促進（82 ページ）

【評価の理由】

女性委員の登用に努め、目標値を達成することができた。

・取組番号125番

女性管理職の登用にに向けた研修の強化（125 ページ）

【評価の理由】

目標値をやや超える人数を受講させることができた。

・取組番号127番

男性職員の育児休業取得の促進（127 ページ）

【評価の理由】

目標値を上回り 100%となったため。

- 取組番号128番

育児や介護制度の職員向けガイドラインの活用（128 ページ）

【評価の理由】

短期介護休暇、子の看護休暇等の制度を利用する人が増えている。

- 取組番号129番

年次有給休暇の取得促進とノー残業の促進（129 ページ）

【評価の理由】

取得率は増加している。

② 当初の予定通りの実績を上げられなかった取組「C」

- 取組番号2番

各センターでの男女共同参画に関する講座の実施（2 ページ）

【評価の理由】

目標値の実施回数に達しなかったため。

- 取組番号3番

青少年女性センターでの男女共同参画事業の実施（3 ページ）

【評価の理由】

年度計画どおり講座の実施はできたが、各講座の参加者は定員に達しなかった。
計画策定時に実施していた事業は他事業との統合により実施なし。

- 取組番号5番

市民大学校における男女共同参画関連講座の実施（5 ページ）

【評価の理由】

新型コロナウイルスに関する感染対策が緩和されたことにより、調理に関する
事業実施が再開されたが目標値に届かなかったため。

- 取組番号6番

なるほど行政講座の中で男女平等に関連する情報の提供（6 ページ）

【評価の理由】

講座の開催希望がなかったため。

- 取組番号29番

図書館児童サービスの充実（29 ページ）

【評価の理由】

「はじめてであうえほん」は健康課の4カ月育児相談の回数の減によるもの、
「親子おはなし会」はコロナ以降参加者が減ったため実施回が目標値に達しな
かったため。

- 取組番号44番

介護支援ボランティア制度の運用（44 ページ）

【評価の理由】

コロナ 5 類に移行後も、受け入れ休止を続ける施設（主に介護施設）が多く、ボランティア依頼数も少ない状況が続いている。

- 取組番号51番

スポーツ指導者の育成と参加促進（51 ページ）

【評価の理由】

受講者がいないため。

- 取組番号81番

農業年金への女性農業者や若い農業者の加入の促進（81 ページ）

【評価の理由】

戸別訪問により、2名の農業者年金加入に繋がったが、女性加入者はいなかったため。

- 取組番号86番

市政懇談会への多様な参加の促進（86 ページ）

【評価の理由】

団体との懇談や要望書の受理により、市民から広く意見や提案を聞くことができたが、市政懇談会の開催による目標値の達成をすることができなかった。

- 取組番号105番

消防団員充実強化（105 ページ）

【評価の理由】

消防団広報活動は行っているものの、団員数が数値目標に達しなかったため。

- 取組番号114番

外国人市民交流による相互理解の推進（114 ページ）

【評価の理由】

外国人市民との交流会として、白井国際交流まつりを実施し、参加者数が目標値に達したが、昨年に引き続き開催した世界のダンス&ミュージックフェスティバルについては、参加者数が減少した。

③ まったく実績がなかった取組「D」

・取組番号4番

青少年女性センターとの連携（4 ページ）

【評価の理由】

例年、福祉センターフェスティバルにおいて、講演会を実施しているが、令和5年度は講演会を行う場所を確保できなかったため、実施できなかった。

※実施状況が「Z」となっている、取組番号9番、16番、17番、40番については案件自体がなかったため、評価なしとした。

2. 数値目標（年次進行管理分）の実績

①「積極的に育児をしている父親の割合」

令和4年度の実績値（66.50%）とほぼ同じであった。

②「自治会長に占める女性の割合」

自治会ハンドブックの中で男女とも自治会等運営への参画を促すなどの取り組みを引き続き行っており、令和4年度の実績値から約1ポイント増加した。

③「市が設置する審議会などにおける委員の男女比」

取組番号84番の無作為抽出による公募委員候補者登録制度の取り組みなどによって女性委員を増やす取り組みを行っているため。

④「女性消防団員」

例年と同じ実績が続いており、目標値を達成できていない。意識啓発等の方法について検討が必要であると考えられる。

⑤「市役所内女性管理職（課長級）の割合」

昇格方針において女性の積極的な登用を図っており、今後も引き続き、管理職候補者に研修参加を促す等、人材育成を行うとともに女性の積極的な登用を図り、令和7年度までの目標値へ近づけるよう努める。

⑥「市役所内男性育児休業取得率」

庁内の情報システム等で制度の周知を図っており、令和5年度は、育児休業を取得した職員がいた。